

# 2023年度(2023年7月～2024年6月)の取り組み報告書

組織名／団体・地域 ( 広島県社会保障推進協議会 ) 記入者 ( 村田 良二 )

この一年間の取り組みの特徴について (医療、介護、福祉、年金、教育、子育て、生活保護など社会保障改善の取り組み、保険証存続のたたかい、自治体キャラバンの特徴、その他)

- ・広島県社会保障推進協議会 (以下、県社保協) は、昨年総会で事務局長が退任して以降、運営委員会にて今後の事務局体制を検討してきました。その為、中央社保協が提起する運動や方針に沿った取り組みを県社保協としては、ほとんど実践出来ませんでした。
- ・事務局体制の再構築にあたり、事務局の任務を整理しました。運営を担う各団体の内部事情からも、以前のように一つの団体から事務局長のみを選出し、恒常的に担当することはその団体の負担が過大となる為、事務局長と事務局次長を設け、共同・分担で対応することとしました。また、それらは任期を定め、運営委員会の構成団体で公平に担当することとしました。各団体とも、それぞれのメインテーマの運動がある為、県社保協として運動は「無理なく出来ることをする」が共通認識となりました。
- ・事務局長1名 (運営統括) と事務局次長2名 (総務、会計) として、任務を分担しました。また、県社保協として取り組むべき運動の情勢判断や運動の主導役を事務局長に委ねるのではなく、運営委員会で協議し、組織的に決定することとしました。
- ・第11期 (2006年度) から代表委員を務めていただいた佐々木宏先生が、2024年3月を以て広島大学から北海道大学へ転任されました。長年にわたり、社会保障の改善に向け、専門家としての知見で私たちの運動を牽引していただきました。

## 署名集約 (取り組んだ署名を記入ください)

① 軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める請願署名	2,334 筆
② 介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名	2,551 筆
③ 現行の健康保険証を残してください請願署名	2,775 筆
④ 国の制度として18歳までの医療費窓口負担を無料に請願署名	筆
⑤ その他 ( 憲法改悪を許さない全国署名 )	1,286 筆
⑥ その他 ( )	筆

## 2023年度内に結成した地域社保協

結成年月日( ) 名称( )  
結成年月日( ) 名称( )

## 結成予定の地域社保協

結成予定日( ) 名称( )  
結成予定日( ) 名称( )

## 中央社会保障推進協議会2024年度役員（案）

敬称略、○は専従、中途交代を含む

	役職名	氏名	よみがな	所属	
1	代表委員	住江 憲勇	すみえ けんゆう	全国保険医団体連合会	再
2	代表委員	山田 智	やまだ さとし	全日本民主医療機関連合会	再
3	代表委員	安達 克郎	あだち かつろう	大阪社会保障推進協議会	再
4	代表委員	吉田 章	よしだ あきら	東京社会保障推進協議会	新
5	代表委員			全国労働組合総連合	新
6	代表委員	渡辺 勇仁	わたなべ ゆうじ	日本医療労働組合連合会	新
1	事務局長○	林 信悟	はやし しんご	日本医療労働組合連合会	再
1	事務局次長	上所 聡子	かみじょ さとこ	全国保険医団体連合会	再
2	事務局次長	山本 淑子	やまもと よしこ	全日本民主医療機関連合会	再
3	事務局次長			全国労働組合総連合	新
4	事務局次長○			全日本民主医療機関連合会	新
1	運営委員	日野 徹子	ひの てつこ	新日本婦人の会	再
2	運営委員	西野 武	にしの たけし	全国生活と健康を守る会連合会	再
3	運営委員	民谷 孝則	たみや たかのり	全国福祉保育労働組合	再
4	運営委員	曾根 貴子	そね たかこ	全国保険医団体連合会	再
5	運営委員	酒井 暁史	さかい あきふみ	全日本民主医療機関連合会	新
6	運営委員	中山 眞	なかやま まこと	全国商工団体連合会	新
7	運営委員	大島 正嗣	おおしま まさつぐ	日本医療福祉生活協同組合連合会	再
8	運営委員	桶谷 恵美	おけたに えみ	日本医療労働組合連合会	新
9	運営委員	中本 邦彦	なかもと くにひこ	日本国家公務員労働組合連合会	再
10	運営委員	山本 民子	やまもと たみこ	日本自治体労働組合総連合	新
11	運営委員	白沢 仁	しらさわ ひとし	障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会	再
12	運営委員	村田 信子	むらた のぶこ	全日本教職員組合	再
13	運営委員	廣岡 元穂	ひろおか もとほ	全日本年金者組合	新
14	運営委員	島田 雄一	しまだ ゆういち	日本共産党	新
15	運営委員	藤原 麻子	ふじわら あさこ	農民運動全国連合会	再
16	運営委員	沢野 天	さわの たかし	北海道社会保障推進協議会	再
17	運営委員	高橋 隆一	たかはし りゅういち	宮城県社会保障推進協議会	再
18	運営委員	段 和志	だん かずし	埼玉県社会保障推進協議会	再
19	運営委員	竹内 敏昭	たけうち としあき	社会保障推進千葉県協議会	新
20	運営委員			東京社会保障推進協議会	新
21	運営委員	根本 隆	ねもと たかし	神奈川県社会保障推進協議会	再
22	運営委員	藤牧 圭介	ふじまき けいすけ	石川県社会保障推進協議会	再
23	運営委員	小松 民子	こまつ たみこ	愛知県社会保障推進協議会	再
24	運営委員	寺内 順子	てらうち じゅんこ	大阪社会保障推進協議会	再
25	運営委員	森本 忠春	もりもと ただはる	岡山県社会保障推進協議会	新
26	運営委員	楠藤 義朝	なんとう よしとも	徳島県社会保障推進協議会	再
27	運営委員	日高 光雄	ひだか みつお	鹿児島県社会保障推進協議会	再
1	会計監査	柳 恵美子	やなぎ えみこ	全国生協労働組合連合会	再
2	会計監査	山口 一秀	やまぐち かずひで	佐賀県社会保障推進協議会	新

## 「大軍拡」と「社会保障削減」に突き進む国政を終わらせ、いのちと暮らしを守る「人権としての社会保障」を実現させよう

中央社保協は8月10日、東京都内にて第68回全国総会を行った。中央団体や各地の社保協など総勢100名以上が参加し、全国各地から豊かなたたかひの発言が共有され、新たな運動方針を確立した。

元日に発生した能登半島地震の復旧・復興が進まないなか、通常国会は自民党派閥による「裏金疑惑」追及国会となった。岸田自公政権は安保三文書に基づく敵基地攻撃能力の保有や軍事費2倍化など空前の大軍拡を進め、私たちの暮らしや人権を脅かす悪法を数の力で押し通してきた。税収は4年連続で過去最高にもかかわらず、大企業や富裕層へは優遇税制をすすめ、被災地にはわずかな予備費ですませる一方、大阪万博など大型開発や軍事費に莫大な税金を注ぎ込み、子育て支援を理由に「高齢者世代」と「子育て世代」を分断し医療・介護の制度改悪と国民負担増を推し進め、任意のマイナンバーカードを事実上強制する保険証廃止にひた走るなど、現政権は国民負担増ばかりを求めている。

2012年の安倍政権からの12年間で社会保障予算は自然増分を含め5兆円以上が削減された。社会保障は消費税率が上がるたびに悪化し、税負担額と社会保障負担額の合計である国民負担率は46.8%の見込みである。異常な物価高と円安が国民生活を直撃するなか、4月から多くの自治体で介護保険料や国民健康保険料が引き上げられ、公的年金も実質減額となった。もはやこれ以上の医療・社会保障の削減や国民負担増は絶対に許されない。

一方で国民のたたかひは広がっている。生活保護をめぐる「いのちのとりで裁判」は、7月までに地裁で原告勝訴の判決が相次ぎ17勝11敗になるとともに、名古屋高裁では原告が完全勝利した。訪問介護の基本報酬の引き下げ反対の声を広げた結果、衆議院の厚生労働委員会で介護処遇改善の決議を勝ち取った。保険証存続のたたかひは145万筆を超える請願署名を国会に提出し170を超える自治体で意見書採択につながった。子ども医療費は全国7割の自治体で18歳までの医療費助成制度が実現し、加齢性難聴の補聴器助成も全国で300自治体を超えて広がった。「声をあげれば変えられる」春のたたかひに確信をもち、全国各地で仲間とともに社会保障運動を大きく広げていこう。

中央社保協の原点は大軍拡反対とのたたかひである。憲法25条の生存権が定める社会保障は長年にわたり労働者・国民が血のにじむたたかひで勝ち取った基本的権利である。社会保障は平和と民主主義のもとで成り立つものであり、戦争や軍拡とは決して相いれない。全国に社保協の旗を大きく広げ、「大軍拡」と「社会保障削減」に突き進む国政を一刻も早く終わらせよう。そして、いのちと暮らしを守る「人権としての社会保障」を実現させよう。

中央社保協 第 68 回全国総会（2024 年 8 月 10 日） 発言組織一覧

- ・全体討論時間は 13 時～15 時 45 分の 165 分、途中 10 分程度の休憩を 1 回はさむ
- ・発言時間は 1 人 5 分を厳守し 4 分で予鈴を鳴らす。29 名全員の発言時間 5 分を保障する。
- ・議長は 5 名の発言者が終わったら、次の 5 名の発言者を紹介する。
- ・時間がおす場合は、討論後の休憩時間（15 分）を短くする。

- ①石川県社保協 藤牧さん オンライン「能登半島地震の現状と課題」（pp 使用）
  - ②大阪社保協 寺内さん オンライン「第 51 回中央社保学校 from 大阪の成功にむけて」
  - ③愛知社保協 小松さん オンライン「愛知のたたかい、高齢者大会 in 愛知ほか」
  - ④滋賀県社保協 山本さん オンライン「滋賀県立小児医療センターを守るたたかい」
  - ⑤長野県社保協 藤本さん オンライン「訪問介護・子ども医療費拡充のたたかい」
  
  - ⑥千葉県社保協 竹内さん 会場「6/12 山武地域社保協結成報告を中心に」
  - ⑦山梨県社保協 津布久さん 会場「後期高齢者医療制度不服審査請求のたたかい」
  - ⑧東京社保協 大嶋さん 会場「地域医療構想めぐる市民運動と社保協の役割」
  - ⑨神奈川社保協 根本さん 会場「なくすな保険証 神奈川県連絡会のとりくみ」
  - ⑩埼玉県社保協 金澤さん 会場「秩父・北部地域社保協交流会に取り組んで」
  
  - ⑪岩手県社保協 高橋さん オンライン「現行の健康保険証廃止反対のたたかい」
  - ⑫山口県社保協 川辺さん オンライン「生活保護のしおり・点検運動」
  - ⑬福島県社保協 渡辺さん オンライン「福島のたたかい」
  - ⑭香川県社保協 西田さん オンライン「補聴器助成、香川みみの会連絡会の取り組み」
  - ⑮岡山県社保協 森本さん オンライン「岡山県心身障害者医療費公費負担制度のたたかい」
- （休憩）
- ⑯沖縄県社保協 高崎さん 会場「国保改善のたたかい（特に国保学習運動）」
  - ⑰保団連 曾根さん 会場「社保テキスト・保険証のこせ・国保改善大運動」
  - ⑱全日本民医連 酒井さん 会場「手遅れ死亡事例調査」（pp 使用）
  - ⑲年金者組合 木田さん 会場「若者も高齢者も安心できる年金へ」
  - ⑳全生連 西野さん 会場「いのちのとりで裁判・桐生市の生活保護問題」
  
  - ㉑福岡県社保協 甲斐さん オンライン「保険証をのこしてネットワークふくおか」
  - ㉒障全協 家平さん オンライン「障害者運動の成果と課題・優生保護法裁判勝利」
  - ㉓京都社保協 松本さん オンライン「連続学習会・地域医療構想・地域社保協」
  - ㉔和歌山社保協 佐藤さん オンライン「国保・介護保険料引き下げのたたかいの教訓」
  - ㉕新婦人 高園さん 会場「子ども医療費をめぐるたたかいなど」
  
  - ㉖全商連 宇野さん 会場「社会保障改善の税金の集め方・使い方を正す運動」
  - ㉗福祉保育労 民谷さん 会場「保育士の配置基準・障がい者施設不正問題など」
  - ㉘自治労連 山本さん 会場「地方自治法改悪反対のたたかい」
  - ㉙日本医労連 小栗さん 会場「医療介護福祉分野の社会保障改善の取り組み」

# 未来を切り拓く 権利としての社会保障

震災復興から自治体の革新へ、民主主義の道を歩もう

2024年

8/31(土)~9/1(日)

1日目 13:00 [12:30 受付開始] - 17:00

2日目 9:00 [8:30 受付開始] - 15:00

メイン会場 大阪民医連会議室

(定員100名まで/大阪在住以外の方優先)+オンライン併用

サテライト会場 大阪府保険医協会

(大阪在住の方優先)

第51回

## 中央 社会 保障 学校 from 大阪

コロナ禍で日本の社会保障とともに政治や社会の脆弱性が明確になりました。安倍・菅政治直結の岸田内閣による「新しい資本主義」なるまやかしのスローガンの下、自助を基本とする社会保障政策を引き続き加速させる政治が強く打ち出されています。

中央社保学校の開催は、現在の日本の政治や社会の現状を広く深く分析し今後のあり方を考え、そのもとで社会保障の現状と改革の方向性を探っていくために、重要な意義があるものです。

1  
日目

[第1講座] 13:00~

### 災害復興政策の 根本問題

田中 正人

追手門学院大学教授



13:00 開校あいさつ(安達克郎 大阪社協会長)

16:00 特別報告(地域の活動の現場から)

17:00 休校

お申し込みはこちらから→



●参加費/1人2,000円(1日のみ参加、通し参加とも)

●お申し込み期日/8月22日(木)

●入金期日/8月29日(木)

(お申し込み時に登録されたメールアドレスに受付完了メールが自動返信されます)

●宿泊あっせん/8/31(土)の宿泊希望の方は「JU観光」へ申込みください ※詳しくは別途HPでご案内

●お弁当/申込時に9/1(日)昼食希望をチェックして下さい。支払いは当日、現地でお支払い。

「中央社保学校参加費」と明記し、参加者名を必ずご記入下さい。※振り込み手数料は各自ご負担ください。

ゆうちょ銀行振替口座 00180-3-155551

ゆうちょ銀行 当座 店名〇一九 口座番号 0155551

加入者名:中央社会保障推進協議会

振込先

2  
日目

[第2講座] 9:00~

パネルディスカッション

### 政治と社会保障

●パネリスト



富田 宏治

関西学院大学教授



桜田 照雄

阪南大学教授



元橋 利恵

大阪大学大学院人間科学研究科招へい研究員

●コーディネーター 山本 淑子 全日本民医連事務局長

[第3講座] 13:00~

シンポジウム

### 若者とともに考える 社会保障の未来

●コーディネーター 長友 薫輝 佛光大学准教授

15:00 閉校式

【主催】第51回中央社保学校現地実行委員会(近畿ブロック)・中央社会保障推進協議会

☎03-5808-5344 Fax.03-5808-5345 E-mail:sankasho25@shahokyo.jp

# 第51回中央社保学校from大阪

## 未来を切り拓く権利としての社会保障

### 学校長兼現地実行委員会委員長からのメッセージ



安達 克郎

大阪社保協会長

第51回中央社保学校from大阪では、以下の3つの課題を設定し、みなさんの参加をお待ちしています。第1講座は、災害復興政策の根本問題。今年1月1日に能登半島地震が起きました。大阪で震災復興と都市計画を専門としている田中正人・追手門大学教授による講演と震災復興の現状と自治体の課題を論議します。

第2講座は、政治と社会保障。とくに大阪では大阪府市と半数以上の自治体で維新政治が行われています。維新政治のもとで社会保障はどうなったか？またジェンダーと社会保障の課題にも取り組みます。

第3講座は若者とともに考える社会保障の未来。現在の若者が社会保障に対してどのように感じているか？現場の若者の発言から考えます。

### 講師プロフィール

#### 田中 正人

追手門学院大学地域創造学部、同大学院現代社会文化研究科教授。1969年京都市生まれ。神戸大学大学院自然科学研究科修了、博士(工学)。専門は都市計画・災害復興。株式会社都市調査計画事務所取締役所長、NPO法人リスクデザイン研究所理事長を兼任。主な著書に『減災・復興政策と社会的不平等—居住地

選択機会の保障に向けて』(日本経済評論社)、共著書に『これからの住まいとまち』(朝倉書店)、『復興から日常へ』(関西学院大学出版会)など。日本建築学会奨励賞、地域安全学会論文奨励賞、復興デザイン会議・最優秀論文賞ほか受賞。

### パネリストプロフィール

#### 富田 宏治

関西学院大学法学部教授。1959年生まれ。名古屋大学法学部卒。名古屋大学法学部助手、関西学院大学法学部専任講師・助教授を経て、1999年より現職。専攻は日本政治思想史。2006年より原水爆禁止世界大会起草委員長を務める。大阪革新懇代表世話人。全国革新懇代表世話人。著書:『維新政治の本質』(あけび書房、2022年)、『今よみがえる丸山眞男』(あけび書房、2021年)、『新版 核兵器禁止条約の意義と課題』(かもがわ出版、2021年)など多数。

#### 桜田 照雄

阪南大学流通学部教授。1958年大阪府生まれ。博士(経済学・京都大)。93年より現職。「カジノ問題を考える大阪ネットワーク」代表。大阪革新懇代表世話人、全国革新懇代表世話人。主な著書に『銀行ディスクロージャー』(1995年、法律文化社)、『カジノ・万博で大阪が壊れる—維新による経済・生活大破壊』(2022年、あけび書房、共著)など多数。

#### 元橋 利恵

大阪大学大学院人間科学研究科招へい研究員。1987年生まれ。博士(人間科学)。ケアの倫理とフェミニズムの理論をベースに、現代の母性、家族、女性運動について研究・教育活動をおこなっています。主著に『母性の抑圧と抵抗—ケアの倫理を通して考える戦略的母性主義』(2021年、晃洋書房)。2022年に第16回平塚らいてう賞奨励賞を受賞。

### メイン会場 大阪民医連

(大阪在住以外の方優先)

大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階  
(地下鉄堺筋線または中央線「堺筋本町」駅下車／9番出口徒歩1分)

### サテライト会場 大阪府保険医協会

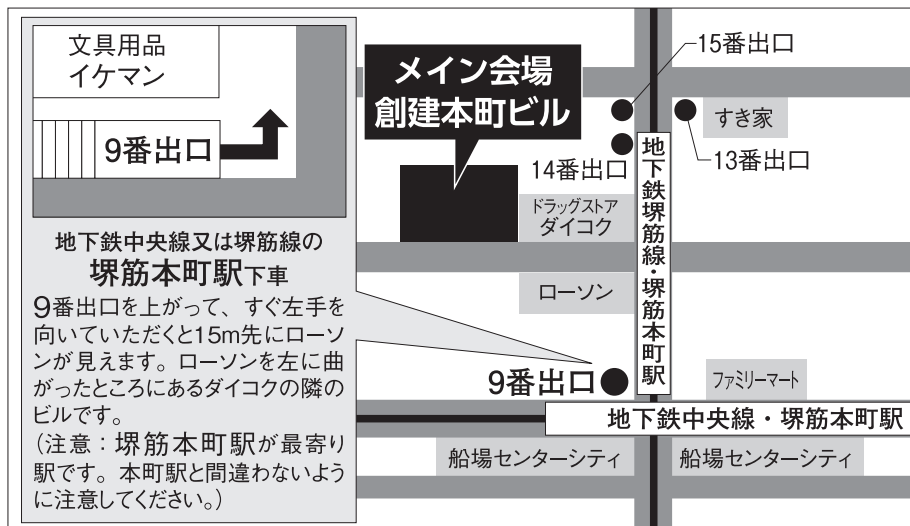
(大阪在住の方優先)

大阪市浪速区幸町1-2-34 大阪府保険医協同組合会館5F  
(地下鉄・JR線「なんば」下車26-A出口徒歩5分)

### 第51回中央社保学校現地実行委員会 中央社会保障推進協議会

(近畿ブロック)

E-mail:sankasho25@shahokyo.jp



医療・介護・福祉に国の予算を増やせ!



## 9・26 総行動

- ①医療・介護・福祉従事者の大幅増員・大幅賃上げを! 診療報酬・介護報酬の再改定を
- ②医療・社会保障費を増やせ! 患者・利用者の負担増ストップ!
- ③保険証のこせ! 保健所増やせ! 地域の医療・介護まもれ!
- ④軍事ではなく外交・社会保障重視の政治を

2024年9月26日(木) 日比谷野外音楽堂

集会▶13:00~14:20 パレード▶14:30~ 東京都千代田区日比谷公園 TEL 03-3591-6388



9・26総行動  
公式サイト

主催 24年「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動」実行委員会

事務局団体 全国保険医団体連合会/全日本民主医療機関連合会/日本医療福祉生活協同組合連合会/日本医療労働組合連合会/全国大学高専教職員組合  
日本自治体労働組合総連合/東京医療関連労働組合協議会/全国福祉保育労働組合/中央社会保障推進協議会/新医協

連絡先 日本医療労働組合連合会 〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 TEL 03-3875-5871 <http://www.irouren.or.jp/>



ゲスト

コメディアン 松元ヒロ

撮影: 橋蓮二

医療・介護・福祉に国の予算を増やせ!



## 9・26 総行動

### タイムテーブル

- 13:00** 主催者挨拶  
ゲストトークショー  
国会議員挨拶  
メッセージ紹介  
各分野リレートーク
- 14:10** 集会アピール確認  
シュプレヒコール
- 14:30** パレード開始

### 新型コロナ対策

- ①各実行委員会・団体の要請に沿ってご参加ください。
- ②感染対策にご留意ください。

### オンラインの活用

全国各地で、オンラインやSNSも活用した行動を計画してください。

- ①集会はオンラインで配信します。  
※URL等は公式サイトでお知らせします。
- ②集団視聴をしたり、集会に呼応した行動を計画したりしましょう。
- ③ハッシュタグ「#いのちまもる」をつけて各団体の取り組みを発信してください。

「#いのちまもる 9・26 総行動」ウェブサイト  
<https://undow5.wixsite.com/inochimamoru>

### 会場

日比谷野外音楽堂

東京都千代田区日比谷公園 TEL: 03-3591-6388

### 交通のご案内

- 東京メトロ丸の内線「霞ヶ関駅」B2出口より3分
- 東京メトロ日比谷線、千代田線「日比谷駅」A14出口より4分
- 東京メトロ日比谷線「霞ヶ関駅」A5出口より4分、C4出口より3分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より3分
- 都営地下鉄三田線「内幸町駅」A7出口より3分

## 「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動」への賛同と参加を呼びかけます

「いつでも、どこでも、必要な時に、安全・安心の医療・介護が受けられる」とは、国民の最も切実な願いであると同時に、憲法25条で生存権として保障された権利でもあります。

この間、コロナ禍で日本の医療・公衆衛生体制の脆弱性が浮き彫りになり、その根本にある国の低医療費・社会保障費抑制政策が厳しく批判されてきました。しかし政府は、その政策を見直さないばかりか、医療・社会保障の削減をさらに推し進めようとしています。

今回の診療報酬改定では、賃上げのためのベースアップ評価料が新設されたものの、その内容は極めて不十分なうえ、診療報酬全体としてはマイナス改定となり、医療従事者の賃上げや人材確保、地域医療の充実には程遠い内容となりました。ケア労働者の賃上げが、他産業の水準や物価高騰に追いつかず人手不足に拍車がかかり、医療・介護・福祉のサービス提供にも影響を及ぼしています。

また、マイナ保険証をめぐる問題でも、その問題点が指摘されて利用も進まず、従来の健康保険証の存続が強く求められるもて廃止決定が強行されました。任意のマイナ保険証への切り替えにより国民皆保険制度が崩されることへの批判と、患者と医療・介護現場の混乱や負担増への懸念が強まっています。

医療・介護・福祉・公衆衛生の充実のために、診療報酬・介護報酬の抜本的引き上げ、患者・利用者負担の軽減、賃上げ・処遇改善、大幅増員は待たなしの課題です。

今こそ、憲法を守り、医療・社会保障の拡充で、いのちと暮らしを守る運動が求められています。軍事費を増やして戦争する国に進むのではなく、社会保障を拡充し、いのちと暮らし、人権をまもる政治への転換を求める声を上げていきましょう。

### 【スローガン】

- ①医療・介護・福祉従事者の大幅増員・大幅賃上げを!  
診療報酬・介護報酬の再改定を
- ②医療・社会保障費を増やせ! 患者・利用者の負担増ストップ!
- ③保険証のこせ! 保健所増やせ! 地域の医療・介護まもれ!
- ④軍事ではなく外交・社会保障重視の政治を

24年「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動」実行委員会



9・26総行動  
公式サイト





世界中の戦争をなくそう！ 平和な地球と豊かなくらしをとりもどそう！  
すべての人が手を取り合って、飢えと貧困をなくそう！



第37回

2024年

# 日本高齢者大会

in あいち

11/22(金)・23(土・祝)

名古屋国際会議場



記念講演

参加費用

「人権は生きる力 希望ある社会のために」

● 会場参加費等

参加費 1日 2,500円 2日間 5,000円  
東京実委分担金 1日 500円 2日間 1,000円

● WEB参加費等(全体会と講座配信予定)

参加費 1日 1,000円 2日間 2,000円  
東京実委分担金 1日 500円 2日間 1,000円

\* 全体会といくつかの講座・分科会が配信されます。配信される講座・分科会はリーフやホームページでお知らせします。

● 東京実委ツアー参加費等 (11/3 受付〆切)

参加費等+往き帰り新幹線+宿泊+バス移動など・東京実委分担金含め 48,000円

\* 東京実委分担金 500円/日は、宣伝物・資料郵送費と東京実行委員会体制維持のために毎年お願いしております。



藤井克徳さん

(きょうされん専務理事)

【プロフィール】

NPO 法人日本障害者協議会代表  
日本障害フォーラム(JDF)副代表  
2012年 国連・ESCAP チャンピオン賞受賞  
(障害者の権利擁護関連)  
2022年 日本放送協会放送文化賞受賞

申し込み

地域・団体でまとめて東京実委に申し込んでください。要項と申し込み用紙は、東京実委のホームページから取ることができます。

<http://koureiki.main.jp/html/t/nihon.html>

申込1次集約 9/30 第2次集約 11/3 以降現地受付

まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう

第37回日本高齢者大会・東京実行委員会 (連絡先:東京高齢期運動連絡会)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-1-12 生方ビル4階 E-mail [tokyo.koureiki@gmail.com](mailto:tokyo.koureiki@gmail.com) TEL03-5956-8781 FAX03-5956-8782

# 1日1日 学習講座・分科会・移動分科会・夜の交流会

時間／13:00～16:30

会場／名古屋国際会議場 レセプションホール・会議室

## 学習講座

- 1 日本高齢者人権宣言を学ぼう
- 2 もう一度学び直そう ジェンダー・女性の低年金・最低保障年金
- 3 災害・防災・原発 能登地震からまなぶことは何か
- 4 平和・戦争・基地 日本の基地化はどこまですすんでいるか
- 5 高齢者の就労と労働問題 増える高齢労働者 課題を探る
- 6 オーラルフレイルから、楽しいおしゃべり・食するお口の健康を学ぶ

オンライン配信については、どの学習講座・分科会にするか検討中です。

## 分科会

- 1 地域に高齢期運動を根付かせる活動を交流、明日への展望を出す
- 2 社会保障・医療 自己負担をなくし、医療を受ける権利を守るために
- 3 高齢化がすすむ日本で利用できない介護保障・介護保険でいいのか
- 4 孤独・孤立から三世代共存の安心して住み続けられるまちづくり
- 5 補聴器購入助成制度の実現 聞こえは健康に生きるために必要
- 6 交通・高齢者の移動手段の確保
- 7 高齢期をいきいきとさせる文化活動
- 8 文化活動 短歌
- 9 住まいは人権

## 移動分科会

- 1 有松かいわい散策
- 2 熱田空襲・白鳥古墳・白鳥庭園
- 3 名古屋城かいわい散策

## 夜の交流会

うたごえ交流会

※企画内容が変わる場合もあります。  
※移動分科会、夜の交流会は、別会場・別時間になります。

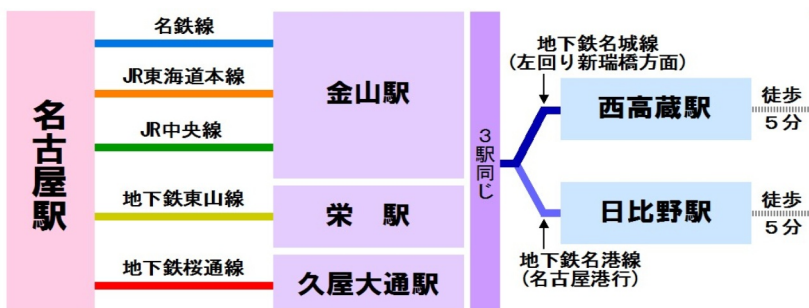
## 大会参加申し込みについて

- 大会参加締め切り日（第1次）2024年9月30日
- 移動分科会の定員数・参加申し込み・締め切り日は別途お知らせします。
- 参加申込・参加費は各県連絡会・中央団体に出してください（オンライン配信の場合も同じ）
- 学習講座・分科会のテーマ・内容は後日配布する大会リーフレット（7月発行）、大会しおり（10月発行）を参照してください。なお、当日までに内容を変更する場合があります。

## 現地実行委員会からのおすすめ

高齢者大会前後の日や時間を利用して、話題のスポットを見る時間を設けて、今を楽しみませんか。  
例えば、名古屋駅から「虎に翼」ロケ地まで約30分、「どうする家康」の岡崎城まで約45分、国宝犬山城まで約70分、明治村まで約90分、ジブリパークまで約50分の片道時間の小旅行等を事前に計画して愛知を存分にお楽しみください。

## 名古屋駅から会場へのアクセス



名古屋国際会議場



つどい、まなび、人権がやぐ、希望ある明日へ!!